

## イベント情報

★ 2017年12月7日(木) 関内駅前の横浜大通り公園・石の広場で ★  
「障害福祉の未来を考える集い」を開催いたしました。



横浜市内 100カ所を超える作業所・活動ホーム・グループホームから、当事者・家族・職員ら約 1,200 名が集まり、青空の下「障害者が安心して暮らせる街はだれもが暮らしやすい町」の横断幕を掲げ、盛況のうちに行われました。

### 今年の標語（のぼり旗）

- ◇ 支えあおう、ヨコハマ！
- ◇ 自分らしく、地域の中で、楽しく
- ◇ グループホームで楽しい老後を！
- ◇ 「やまゆり」のいたみをわすれません



初めに主催者代表谷口実氏（市作連会長）、来賓の横浜市健康福祉局障害福祉部、障害者支援センター、守る会連盟らからの挨拶や激励があり、オリジナル缶マグネットの優秀デザイン賞の発表と続きました。

マグネットは被災地障害者支援計画（TEAM3）の一環として、被災地の作業所へ缶マグネットを注文し、当日に参加者や市民に配布、多数の応募の中から採用となった優秀デザイン賞の発表、感謝状の贈呈がありました。

当事者発表では、作業所から鶴見区のNPO 法人一歩舎、活動ホームから神奈川区のたんまち福祉活動ホーム、グループホームから都筑区のすぴーんによる発表があり、仕事や生活の様子、願いや将来の夢、グループホームの充実などを訴えました。

その後、障害者が安心して通える日中活動の場や安心して生活できるグループホームをもっと充実させていくように努めることを宣言した集会宣言を空津滋樹氏（GH 連会長）が読み上げ、当事者 9 名が横浜市への手紙を健康福祉局障害福祉担当職員に気持ちを込めて手渡しました。



ステージイベントでは、保土ヶ谷区の地域作業所浜風のスマイルダンサーズのダンスパフォーマンス、OSMY のコンサートで盛り上がりました。

